

点 $(1, 1)$ と直線 $y = -2$ からの距離が等しい点の軌跡は放物線であり、その方程式は $y = ax^2 + bx - \frac{1}{3}$ である。このとき、 $a = \boxed{\text{ア}}$ 、 $b = \boxed{\text{イ}}$ である。

(02 鹿児島大理・工・医 5B(1))

【答】

ア	イ
$\frac{1}{6}$	$-\frac{1}{3}$

【解答】

点 $(1, 1)$ と直線 $y = -2$ からの距離が等しい点の座標を (x, y) とおくと

$$\sqrt{(x-1)^2 + (y-1)^2} = |y+2|$$

が成り立つ。式を整理すると

$$(x-1)^2 + (y-1)^2 = (y+2)^2$$

$$(x^2 - 2x + 1) + (y^2 - 2y + 1) = y^2 + 4y + 4$$

$$6y = x^2 - 2x - 2$$

$$\therefore y = \frac{1}{6}x^2 - \frac{1}{3}x - \frac{1}{3}$$

よって

$$a = \frac{1}{6}, \quad b = -\frac{1}{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- 焦点 $(1, 1)$ ，準線 $y = -2$ の放物線の頂点の座標は $(1, -\frac{1}{2})$ であり、頂点と焦点(頂点と準線)の距離は $\frac{3}{2}$ であるから、この放物線の方程式は

$$(x-1)^2 = 4 \cdot \frac{3}{2} \left(y + \frac{1}{2}\right)$$

$$x^2 - 2x + 1 = 6y + 3$$

$$\therefore y = -\frac{1}{6}x^2 - \frac{1}{3}x - \frac{1}{3}$$

である。

